

平成24年度第1回我孫子市自殺対策協議会 会議概要

(1) 会議の名称	平成24年度第1回我孫子市自殺対策協議会							
(2) 開催日時	平成24年7月23日（月） 午後1時30分から2時15分まで							
(3) 開催場所	我孫子市役所 議事堂第1委員会室							
(4) 出席又は欠席した委員その他会議に出席した者の氏名 (傍聴人を除く) 出：出席 欠：欠席	委 員（市職員以外）							
	出	笹下 成子	出	湯沢 秀昭	出	星野 哲夫	欠	高橋 千明
	出	和久井 綾子	出	加藤 福子	欠	牛尾 眞志	欠	吉武 信穂
	出	高橋 綾	出	阿久津 祐子	欠	岡田 昭彦		
	委 員（市職員）							
	出	長塚 九二夫	出	瀬戸井 信之	欠	高橋 俊明		
	事務局出席							
社会福祉課（立澤課長、岡本課長補佐、山澤主査長、三浦主任） 健康づくり支援課（小笠原課長補佐、志村主任） 障害福祉支援課（高松主任）								
(5) 議題	1、 自殺対策の現状について 2、 今後の予定について							
(6) 公開・非公開の別	公開							
(7) 傍聴人の数 (会議を公開した場合)	傍聴人の数	1人						

(8) 会議の内容（概要）

発言者	内 容
事務局	<p>定刻となりました。ただいまから平成24年度第1回我孫子市自殺対策協議会を開催します。</p> <p>はじめに、4月から、新たに委員を委嘱された方が二人いらっしゃいますので、ご紹介します。</p> <p>千葉県精神保健福祉センターの高橋委員と、松戸健康福祉センターの阿久津委員です。</p> <p>(新委員の紹介)</p> <p>続きまして事務局の紹介をします。</p> <p>(事務局職員の紹介)</p> <p>それでは議事に入ります。笹下会長、議事の進行をよろしく申し上げます。</p>

<p>簗下会長</p>	<p>よろしくお願ひします。 それでは、議題（1）自殺対策の現状につきまして、事務局から説明をお願ひします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料1「平成23年 我孫子市及び近隣市における自殺者数」に沿って説明。</p> <p>（要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年中における全国の自殺者数は、前年より912人減少し、30,370人、自殺率は24.06になります。 ・性別では、男性が20,718人、女性が9,652人です。 ・千葉県における自殺者数は、前年より30人増えて1,439人になります。 ・性別では、男性が991人、女性が448人です。 ・我孫子市の自殺者数は、前年より12人減少し19人、自殺率は14.08になります。 ・性別では、男性が11人、女性が8人です。 ・年齢別で見ますと、「70歳代」が6人で最も多く、次いで「30歳代」の4人、「20歳代」、「60歳代」の2人の順になっています。 ・職業別では「無職者」が15人、「被雇用者・勤め人」が4人となっています。 ・原因・動機別では、「健康問題」が14人、「経済・生活問題」が2人、「家庭問題」が1人となっています。 <p>23年度における我孫子市自殺対策事業については、資料の確認をもって報告とかえさせていただきます。 事務局からは、以上です。</p>
<p>簗下会長</p>	<p>ただ今、事務局より「自殺対策の現状」につきまして説明がありましたが、このことでご質問やご意見などございますか。</p> <p>ないようであれば、次の議題に進みます。</p>

事務局	<p>資料3「平成24年度 自殺対策協議会の取り組み予定」に沿って説明。</p> <p>(要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりの、気づきと見守りを促すため、千葉県作成の「相談された時の対応マニュアル メンタルヘルス問題への対応」と、市で作成するリーフレット「大切な人の悩みに気づいてください」及び「困ったときの相談窓口一覧」を、市内医療機関、薬局、民生委員・児童委員等に配布します。 ・人材養成の目的で、本協議会終了後、会長の簗下教授に講師をお願いし、「自殺に傾いた人の心理状況とその対応」研修を行います。 ・心の健康づくりを進める目的で、市職員対象の職場におけるメンタルヘルス研修を先週7月18日に開催しました(受講者44名)。 ・民生委員・児童委員を対象に、自殺リスク者への対応方法の研修会を実施する予定です。 ・健康づくり支援課では、妊娠期より、母親の育児不安を解消し、子どもの健やかな成長・発達を促すため、各種健診・相談事業において、母親の精神的ケアも含めた育児支援を行っています。 ・障害福祉支援課では、自殺や心の悩みの相談を随時受け付けています。ご本人及びご家族を対象に、毎月1回専門医による「心の相談」を実施します。心の病気を持つ方のご家族を対象に、情報交換や家族の思いを語り合うことを目的とする「心の健康クラブ」を毎月1回実施します。お酒をやめようと思ってもやめられない方、家族でお酒の問題で困っている方を対象に、「アルコール教室」を毎月1回実施します。 ・地域における自殺対策の推進として、引き続きこの協議会を開催し、情報交換等を通じて連帯協力体制をより図っていきたいと考えています。 <p>平成24年度自殺対策事業取り組み予定についての説明は、以上です。</p>
湯沢委員	<p>自殺対策事業は、すぐ結果が出るものではなく、対応の難しいところがあります。リーフレットやパンフレットの配布は、市民に事業を行っていることを周知することができ、それが自殺予防に有効であると思いますので、地道に続けていきたいです。</p> <p>また、実際対応することの多い市職員や民生委員対象の研修も、今後引き続き実施し、どのような対応をすればいいのかということを広めていければと思います。</p>
高橋委員	<p>一つの市の自殺者数だけでは傾向等あまり見えないので、千葉県や全国の数を見ながらの対応になると思います。</p> <p>ただ、健康問題がどこも一番の自殺の要因となっています。月に1回「心の健康クラブ」を開催する等地道な市の取り組みは、すぐに成果は出なくても根気強く続けていく必要があると感じました。</p>
簗下会長	<p>心の健康ということで講習会や相談会を開いてもあまり人は集まりませんが、どんな些細なことでも受け付ける健康相談として開くと、割と人は集まるという経験を今までしています。</p> <p>自殺者数の資料から「健康問題」が要因で、年代別では高齢者の方が我孫子市で多いという状況があります。かなり高齢の方で誰にも相談できない人が亡くなっている、今後の課題だと思います。</p>
阿久津委員	<p>昨年度松戸健康福祉センターと我孫子市と共催で、認知行動療法について市民向け講演会を開催しました。今年度は開催しませんが、今後、普及・啓発という意味でも再度行いたいと思っています。</p>

長塚委員	<p>今年1月から5月までで、我孫子市で既に15名の方が自殺で亡くなられています。我孫子市の自殺者数は、平成22年は31名、平成23年は19名と減少しており、施策の効果が挙げたのかと思いきや、今年はまた30名を超えるような状況であることを考えると、統計上の数字で一喜一憂するのではなく、地道に活動を続けていくしかないと考えます。</p> <p>また、前回の会議で、会長から「相談は時間を区切って受け、次回の約束をするようにしないと、相談者側が精神的に疲弊してしまう」というお話をいただきました。今日の会議が終わった後、簗下会長に講師をお願いし、研修会を予定しているということですので、市の職員が相談をいつでもきちんと受けられるような心の在り方についても学びたいと思います。</p>
瀬戸井委員	<p>我孫子市における自殺者の傾向は、全国、千葉県及び他市と同様で、無職の方で健康上問題がある方が多いですが、もう少し突っ込んだ内容の資料がないのかと思います。単純に健康問題とするのではなく、どういう健康問題なのか、無職の人でもどのような状況なのかというところが知りたいです。</p> <p>子ども部でも、子育て相談や施設に来ないで、自宅に閉じこもっている母親に対する対応を考えています。同様に、自殺対策でも、各種相談や講演会等に来ないで、無職で健康問題を抱えている方に対する対応ができればと思います。</p>
簗下会長	<p>統計資料についてですが、今のところ、この統計方法しかないのでしょうか、難しいところです。</p> <p>無職の方の状況というのは、無職でもお金を持っている人か、または無職でお金を持っていない人か、ということでしょうか。</p>
瀬戸井委員	<p>今年また我孫子市における自殺者が増えてしまっており、その状況というのは無職者で健康に問題のある方の自殺者が増えてしまっているとすると、そこに対する対応を市で行っていかなくてはいけないと思います。そこでどのような対応をしていったらいいのか、とっかかりになる情報がデータから分かればということです。</p>
簗下会長	<p>漠然と無職者というより、どういう無職者が多いかが分かれば、呼びかけの仕方もあるということですね。無職で、多分家に閉じこもっている方の方がより深刻だと思いますので、ハローワークにチラシを置くというような対応も考えられるのでは。</p>
事務局	<p>資料に掲載されているデータは、警察庁の資料を基に内閣府で再集計したものです。これとは別に、厚生労働省の人口動態統計のデータをもとに千葉県が取りまとめたものを、例年松戸健康福祉センターから出していただいています。その資料だと、これと同等かもう少し詳しいものが出ると思います。</p>
阿久津委員	<p>データは秋頃出ますので、管内のデータを取りまとめたものを、松戸健康福祉センターで行っている自殺対策連絡会議でお配りしたいと考えています。</p>
加藤委員	<p>やはり、地域で一番身近にいる民生委員の方の声かけといった、民生委員の感度を良くすることが重要なのではと思います。</p> <p>私は柏市の自殺対策委員も務めていまして、柏市では民生委員のゲートキーパー養成を始めています。5回講座を開き、今年度前期で34名の方が認定を受けられました。また9月より後期の講座受講者を募集します。</p> <p>我孫子市でも、民生委員の方に対する研修や講習を実施したらいいのではと思います。</p>
和久井委員	<p>我孫子市における自殺者の数は、この調子でいきますと増加の傾向にあり、少し心配をしています。市で持っている市民の個人情報を利用し、もっと踏み込んだ内容を把握しながら対策をしていくことが必要なのではと思います。</p> <p>民生委員の方からコミュニケーションをとっていくことはいいことだと思いますし、市の手段がもう少しあるのではと思います。</p>

星野委員	<p>我孫子市の自殺者数は、今年はまだ半期にも満たない状態で既に昨年の数字に近づいています。また、原因・動機別のトップが健康問題で市内自殺者の全体の75%以上を占めています。</p> <p>健康問題の詳細は私も知りたいところですが、検案を担当している警察医として経験しているのは、警察に自殺の現場に呼ばれると、大抵がうつ病等精神疾患を病んでいる方だということです。精神疾患を病んでおり、治療歴が数年に及び薬剤もいろいろ多い方です。その次に多いのが、ガン患者です。ガン療法を受けていて治療歴が長く、治療の経過が思わしくないという方が自殺するのが現実だと思います。</p> <p>うつ病の方は、家にこもっていて人にあまり会わないので、パンフレットやリーフレットを公共施設や医院窓口においても、それを目にする機会が少ないと思います。また、うつ病で自殺で亡くなる方の多くは、何回か自殺未遂を試みている方が多いです。手首を切っても失血死に至らないような小さな傷であったり、縄を買ってきたりして、何度か躊躇し、そのうち決心がついて実行してしまう方が多いと思います。ですからやはり周囲の方の気づきをもっと掘り起こしていかないと、根本的な解決にはならないと思います。</p> <p>先ほど加藤委員がおっしゃった、民生委員の方を活性化させることは非常にいいことで、身近な人、例えば各地区の町内会や自治会にもこの活動を波及していければよいのではと思います。</p>
簗下会長	<p>ありがとうございます。それでは最後に、事務局から何か連絡事項ございますか。</p>
事務局	<p>本日は、お忙しいなか、ご出席いただきありがとうございます。今年度の協議会は、来年1月以降になると思います。時間は夕方6時頃の開催で予定しています。</p> <p>また、今月末で本協議会委員の委嘱任期が終了いたします。皆様には、事前に事務局よりご連絡を差し上げ、推薦依頼書など、委嘱手続きに必要な書類を送付してまいります。お忙しいなか恐縮ですが、今後とも自殺対策事業にご協力をいただけますよう、よろしく申し上げます。</p> <p>このあと2時30分から、引き続き、同じ会場で研修会を開催します。簗下会長に講師をお願いしまして、「自殺に傾いた人の心理状況とその対応」について、お話をさせていただきます。</p> <p>委員の皆様方も、ご都合がよろしければぜひご参加いただきたく思います。事務局からは以上です。</p>
簗下会長	<p>それでは、これを持ちまして、平成24年度第1回我孫子市自殺対策協議会を閉会いたします。今日も色々な意見をいただきましたので、それを基にまた今後活動していくということでよろしく願いいたします。</p> <p>本日はお忙しいなか、ありがとうございました。</p>

以上